

青年部報

平成23年3月24日

発行：北九州市

私立保育園連盟

青年部会

発行人：竹内 浩二

編集人：鷲峰 康尚

《青年部会 部長挨拶》

竹内 浩二（光沢寺第二保育園）

平成二十一年度から青年部会の部長を引き受け、早いもので二年が経ち任期を終えることとなりました。これまでの間、全国私立保育園連盟青年会議の会議・行事等に「保育は北九州から」を念頭に参加し、良い経験をさせていただきました。

昨年十月、当市での全国大会開催で、全国各地に北九州の保育に関する取り組みや、姿勢を発信できたことが何よりだと感じております。また、部内研修も充実させ、しっかり部員相互に研鑽することができたのではないかと思います。



この二年間の様々な経験を、これからしっかりと生かせるようにと考えております。平成二十三年度から、山本博文先生（別所保育園）が新部長として奮闘します。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

《活動報告》

四月三十日	総会
六月二日	ソフトボールを通じての交流会
七月二十八日	例会
八月八日	わっしょい百万踊りへの協力
八月十八日	例会
十月十四 ～十五日	全私保連青年会議 北九州大会
十月二十八日	例会
十月二十八日	研修会（TOTOにて）
十一月三日	北九州市保育研修大会への協力
十二月十五日	例会
一月十九日	例会
一月十九日	研修会
一月二十一日	保育課とのボウリング交流会
二月十日	例会
二月十日	研修会
二月十日	青年部会OBとの懇親会
三月三～四日	全国私保連青年会議 九州ブロック福岡大会
三月七日	総会

《 総 会 》

〈日 程〉平成二十二年四月三十日

〈場 所〉レインボープラザ五階会議室

〈内 容〉部長挨拶・議長選出・平成二十一年度

事業報告・収支決算報告・その他の議

題・その他

〈参 加〉十五名

四月三十日、レインボープラザにおいて、平成二十二年度青年部会の総会を開きました。

議長には、栄美保育園・宮原先生を選出し、

円滑に議事が進められ、無事平成二十一年度事

業報告・収支決算を

議決することができました。



活動に向けて気持ちを新たにすることができました。

【ソフトボールを通じての交流会】

〈日 程〉平成二十二年六月二日

〈場 所〉井掘中央公園グラウンド

六月二日、井掘中央公園グラウンドにおいて、恒例となりました浄土真宗本願寺派・企救組とのソフトボール交流会を行いました。

今年も白熱した試合となり、最後には互いの健闘をたたえあい、保育とは違った交流を深めることができました。

【わっしょい百万踊りへの協力】

〈日 程〉平成二十二年八月八日

〈場 所〉北九州市役所前・小文字通り

八月八日、毎年恒例のわっしょい百万踊りが開催され、今年も保育所連盟のサポート役として、青年部会も協力させていただきました。

主な役割としては、休憩時のお茶配りですが、部員も保育士の先生方と一緒にわっしょい百万踊りを踊り、北九州市民として楽しく参加することができました。



【北九州市保育研修大会への協力】

〈日 程〉平成二十二年十一月三日

〈場 所〉北九州ソレイユホール

十一月に北九州ソレイユホールにて催されました『北九州市保育研修大会』において、青年部会も会場準備、弁当の準備・片付け、ステージ上の設営補助等、お手伝いをさせていただきました。

私たち青年部会ができることは、あまり多くはありませんが、これからも研修大会がより充実したものとなるよう協力していければと思っております。

【保育課とのボウリング交流】

〈日 程〉平成二十三年一月二十一日

〈場 所〉小倉コロナワールド

厳しい寒さが続いた一月、近年なかなか実現できていなかった保育課との交流を、数年ぶりにボウリングという形で行うことができました。

当日は年代別の5チームに分かれ、それぞれの年代で保育課の皆さんと部員が勝負魂を見せつつも楽しく、普段とは違った笑顔で過ごすことができました。

保育課の皆さん、今後ともよろしくお願い致します。

【研修会①】

〈日程〉平成二十二年十月二十八日
〈場所〉TOTO 第一研修センター内大ホール
〈内容〉キッズトイレセミナー

十月二十八日、TOTO
○第一研修センター内大ホールにて、『TOTO』キッズトイレセミナー』研修会が開かれました。

今回のセミナーは、先に開催された青年会議全国大会において、パネリストとして参加していただいたTOTOの植野雅子さんとの縁で研修の話をいただき、青年部会としても各園での今後の参考になればと思います参加させていただきました。

研修は、①キッズトイレセミナー②商品確認③意見交換という流れで進められ、①キッズトイレ



セミナーでは、今現在TOTOさんの方で力を入れておられる子ども用トイレの開発過程の話やこれまで導入された全国の保育園の実例をもとにセミナーをしていただきました。

セミナー終了後、②商品確認があり、セミナーで説



明のあった商品に実際に触れながら、使いやすさを実感させていただきました。

その後、③意見交換が行われ、部員からも商品に対する質問等を行い、TOTOさんより更に細かく丁寧な説明をしていただきました。

【研修会②】

〈日程〉平成二十三年一月十九日
〈場所〉レインボープラザ五階会議室
〈講師〉まつだおふいす 松田健二税理士
〈内容〉法人格の変更について

去る一月十九日、まつだおふいす 松田健二税理士を講師に招いて『法人格の変更について』の研修会を開催しました。

この研修会では、新たに変更された新公益法人制度における公益認定・移行認可についての制度内容や認可申請のプロセスについて、松田税理士が最近実際に行った申請事例・経験を基にこの



制度がどのようなものなのか講演していただきました。

具体的には、定款の見直しポイント(定款変更の基礎知識、評議員の構成や役割・報酬額、監事の役割、親族役員の構

成比や任期等)についての説明・解説があり、その後認可申請へのプロセス・公益認定する場合のポイント・注意点について出来るだけ分かりやすく説明していただきました。

【研修会③】

〈日程〉平成二十三年二月十日
〈場所〉浄光寺
〈講師〉橋原淳信北九州市私保連会長
〈内容〉情勢報告、その他質疑応答等

寒さも落ち着きだした二月、小倉北区浄光寺様にて、橋原淳信北九州市私保連会長を講師に招き研修会を開催いたしました。

今回は、主にここ数カ月保育関係者でなくともニュースで必ず目にするようになりました幼児一体化に関する情勢報告を中心に講演していただきました。



お話しいただいた内容は、青年部会部員には、なかなか知ることでできない貴重な情勢・情報で、改めてこれからの保育行政に対する危機感を感じずにはいられない研修となりました。

《全国青年会議 九州ブロック大会》

（日程）平成二十三年三月三〜四日

（場所）福岡市セントラルホテルフクオカ

（講師）豊前市市議会議員 中村勇希氏 他

平成二十三年三月三日（木）・四日（金）に九州各地より約100名の保育者が集い、第十二回全国私立保育園連盟青年会議「九州ブロック大会 in福岡」が開催されました。

三日（木）は、アビスパ福岡 代表取締役専務 下田功氏が講師を務め、「子どもは、小さな大人じゃない〜適切な年齢に適切な課題がある〜」と題した講演がありました。

様々なデータを基に、現在の日本の子ども
の現状（時代と子ども環境の変化）を分析し、
その原因として子どもに対する発育発達概念
の変化等を指摘されました。

私たち保育者は、子どもの好奇心は自発性
の基礎であることを踏まえ、子どもの論理的
思考力を育み、子どもの心身の発育発達を第
一に考えること。また、子どもたちに喜びと
夢をあたえる責任があると学びました。

講演後、アビスパ福岡道下亨・藤井潤両コ
ーチの実技研修「公認キッズリーダー養成講
習会」に参加し、子どもたちへの接し方、ス
キルゲーム、キッズゲーム等を体験しながら、
子どもの論理的思考力を育む「判断」「コミュ
ニケーション」の視機能の発達遊びなどを教
えていただきました。

四日（金）は、豊前市議会副議長 中村勇希

氏による体験型の研修会に参加し、人と人との
触れ合いの中で、自己への気づきを行い、
今だからこそ自分自身を見つめ直し、改めて
自分を知ること、今後の保育観を広げ、子
育ちへのリーダーシップが発揮出来る保育者
となるため、日々の保育の中での気づき・知
識・スキル・変化の意欲を唱え、園でのチー
ムワークと共に保育者一人一人の自己意識の
向上を図り、安全で安心な保育を保護者に伝
えていく。また、子どもが与える感動は計り
しれない、保護者より長く接している保育者
が子ども達との深い信頼関係を築く事の大切
さを述べられて講演を終えられました。研修
の中で紹介されたシェル・シルヴァスタイン
作「与える木」：とても心に響き、自分が大
きくなるにつれて気づいた親の愛情に似てい
るなとも思いました。



2時間という短い
時間ではありましたが、内容の濃い充実
した研修会となりました。
子どもを育てると
いうことが何よりも
幸せであると思える
ような社会であるこ
と。また、自分を誇
りに思いながら生き

ていける子どもを育てる保育者になりたいと
自分自身感じた研修会でありました。

橘原 法道（本城西保育園）

【全国青年会議 北九州大会】

平成二十二年十月十四〜十五日、北九州市
において全国私立保育園連盟青年会議 北九
州大会が開催されました。今大会は、三十回
記念大会ということもあり、過去に例を見な
い500名を超える参加者が全国各地より集
まる大会となりました。

また、大会準備期間から大会終了まで、北九
州市保育関係者の皆様には、多くのご支援とご
協力をいただき、お陰をもちまして大会も無事
終えることが出来ました。厚く御礼申し上げま
す。

〈編集後記〉

早いもので、この青年部報も今号で3回目（臨
時号含む）の発行となりました。初めに竹内青年
部会部長よりこの部報を担当してほしいと言わ
れた時は、はたしてうまくできるのか不安でなり
ませんでした。しかし、北九州市保育関係者の
皆様並びに青年部員協力の下、なんとかここまで
来ることができ、正直ホットいところではす。

とはいえまだまだ改善点のたくさんある部報
だと思えます。今後は、もっと楽しく読みやすい
紙面を目指し、青年部会の活動を皆様に届けら
れればと思います。